

このまちの、小さなきっかけを結び合わせる。

結う便 4・5

2021



4・5月合併便では、富士吉田市地域おこし協力隊の4月中旬～5月中旬の活動をご紹介します。

4月1日、富士吉田市地域おこし協力隊の委嘱式があり、現在富士吉田市で協力隊として活動している4名、片岡美央さん、天野智佳さん、上田潤さんと、富士吉田市繊維産業活性化地域おこし協力隊の森口理緒さんが富士吉田市長より委嘱状を受け取りました。

片岡さんは自身のブランド「GOOD OLD MARKET」で富士吉田市がテーマの商品制作を、天野さんは「YOGANOWAH」としてヨガのレッスン講師、森口さんは織物コンパクター、上田さんは地域福祉の先駆者になるべく、メンバーそれぞれが違う分野で日々活動しています。片岡さん、天野さん、森口さんは今年度がラストの活動期間となり、令和4年3月31日に卒業を迎えます。

上田さんは委嘱式を終えて「市民のみならず地域福祉をより身近なものとして感じられるよう、これからもきっかけ作りに励みたい」と意気込みを語りました。



令和3年度 地域おこし協力隊委嘱式

お知らせ

お問い合わせ

結う便 編集部
☎ 0553-73-9445

〒403-0009
富士吉田市富士見 1-1-5
一般財団法人ふじよしだ定住促進センター 3F

編集

イラストレーション：
Yu Kojima

取材協力：
地域おこし協力隊

発行：
ふじよしだ定住促進センター
結う便編集部

FUJI
YOSHIDA
ふじよしだ定住促進センター

Webサイト「you FUJIYOSHIDA」は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

coconogacco 展覧会

4月17日から4月25日にかけて、FUJIHIMUROギャラリーで「coconogacco(このがっこう)」による「クリエイションの分解展」が開催されました。coconogaccoの2021年度受講生が一年の制作期間を経て完成させ、製作者のアイデンティティが凝縮したアートピースがずらりと並びました。また、4月18日には小室浅間神社で一般参加が可能なオンラインイベント「World Hope Forum」があり、ゲストとしてユナイテッドアローズ上級顧問の栗野宏文さんや、〈NUNO〉代表でテキスタイルデザイナーの須藤玲子さんが参加しました。

今月便の表紙写真は、写ルンです撮影したものです。当センターが所在する旧富士製氷跡地で撮影しました。普段内眼で目にしていない光景を写真に撮ることによって非日常を演出できるのはもちろん、使うカメラの機種によって見慣れた雰囲気や味が変化していきますよね。みなさんも、撮影した富士吉田市の写真をInstagramでタグ付けしてぜひシェアしてください！ #富士吉田市 #FRPCphoto

第7回氷室どうよう市

2020年9月に始まった「氷室どうよう市」も、5月で第6回目の開催となりました。今回は mayo 菓子店、678Grapery、rumbe doobby、GOOD OLD MARKET、リエゾンベーグル、TAKURO bicycle coffee、cafe sowers×和み菜家、革工房柄の絵が書店。マフィンやベーグル、カレー、チャイなどのドリンクに加え、古道具やTシャツのポップアップ販売が行われました。回を重ねるにつれ、山梨県で栽培された野菜を目当てにマルシェを訪れる人が増えています。足を運んでくださった方々、ありがとうございました。また来月！



天野智佳さん
ヨガフェスを開催

5月22日、23日に「ヨガ・まち・人を繋ぐ」まちぶらヨガ」と題したヨガのフェスティバルが本町通り周辺で開催されました。企画したのは地域おこし協力隊の天野智佳さん。ヨガイベントを商店街で開催することで、商店街の活性化を図ります。2日間限定のイベントで、下吉田本町通りの店舗がヨガスタジオに変身し、街をぶらぶらと歩きながら、レッスンやワークショップが受け放題という下町もヨガも好きな人はたまらないフェスティバル！ ヨガイ以外にもピラティス、フラメンコ、ネイルケア、アロマ、座学、カリグラフィーなどのワークショップやレッスンを開催され、総勢13名の講師が参加しました。イベントが開催された2日間、ヨガ用のスポーツウェアを着た参加者で月江寺大門商店街が彩られました。「まちぶらヨガ」は、街の商店街を活用し、今後も継続して開催される予定です。企画した天野さんは「ヨガをする人同士や、ヨガと街との繋がりをもっと作っていきたい」と話しました。



4・5
2021

富士吉田市地域おこし協力隊
かたおか み お
片岡美央さん
〈IIYU TEXTILE〉デザイナー
FUJIYOSHIDA PR WORKS 〈GOOD OLD MARKET〉代表

今月の
協力隊

東京造形大学・大学院在学中に参加した「富士山テキスタイルプロジェクト」がきっかけで富士吉田市に訪れ、卒業とともに2019年春から地域おこし協力隊として移住。デザイン・音楽・アートの実験を生かした様々な創作活動を通して、地域の魅力発信を行なっている。



「富士吉田ふるさと大使・ふるさと応援団」名刺づくり

「富士吉田ふるさと大使」とは富士吉田市が平成28年度に始めた取り組みで、高校を卒業して進学・就職等で富士吉田市を離れる学生約20名を「富士吉田ふるさと大使」に任命し、専用の名刺を活用して富士吉田市のPR活動を行う活動です。任命された大使たちは、新しい環境で出会った人に「富士吉田ふるさと大使」の名刺を渡すことで富士吉田市のPR活動をしたり、SNSで富士吉田市についての投稿をして情報発信をしたりなどの活動を行います。今回片岡さんは「富士吉田ふるさと大使」の名刺デザインを担当。これまでは写真がメインだった名刺を、富士吉田市のイラスト地図にすることでポップにし、同時に観光の促進を目指したデザインにしました。片岡さんがデザインした名刺は大使によって2021年度の1年間使われます。小さな紙が名刺にも地図にもなり、街とその大使、そして名刺を受け取った人とを繋いでいきます。



イメージ左：「富士吉田ふるさと大使・ふるさと応援団」の名刺の裏面。
イメージ右：「富士吉田ふるさと大使・ふるさと応援団」の名刺の裏面。

〈MILL SHOP〉リニューアルイベントに向けたポスター制作

富士吉田市の織物商品を販売する〈MILL SHOP〉がリニューアルオープンしました！「Watanabe Textile」の渡邊竜康さんが、コンセプト「富士北麓の森の中のラウンジ」をテーマに設計を担当しました。新たに設置したカウンターや植物を多く配したことで、のんびりくつろぎながら商品を見ることができたり、地元の方から観光客の方まで、気軽に訪れて織物に触れられるお店へと生まれ変わりました。そのリニューアルオープニングパーティーを記念して、片岡さんはチラシを制作。さまざまな方法で〈MILL SHOP〉での時間を楽しめるようにとのイメージを含んだ、カラフルなデザインになりました！



住所：〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田2-5-11F
営業時間：10:00-20:00
休業日：不定休
アクセス：富士急行富士山駅より徒歩約1分

③発信
福祉に対して、もっと明るいイメージを広めたいと話す上田さん。高齢者がシワの数だけ持つ知恵などを写真と文章で表現し、SNSアプリ Instagram でシェアしていく予定です。誰もがいっしょに介護状態になるか分からないからこそ、若い人に向けても発信する活動を展開します。また、福祉は人の死に近い仕事ではあるけれど、やりがいや必要性をよりポジティブに伝えていくことも大切だと考えるそう。世界一の長寿国家としての可能性を、富士吉田市内で見つけていきます。

①場づくり
上田さんは、福祉について考えるきっかけの場やコミュニティを街に増やしていきたいと考えています。福祉に興味や関心がある人同士で情報共有をしたり、街でどう活動していくかを一緒に考える仲間作りと、そのコミュニティが活動できる場づくりをしたいそう。また、福祉に関しての勉強会やワークショップを定期的に開催することで福祉について考える時間を提供していくそうです。

②住民の支え合いを仕組み化・地域福祉の推進
住民主導の支え合いを仕組み化します。南アルプス市の活動例を参考に、富士吉田の支え合いモデルを作ります。



森口理緒さん
展示会に生地を出展

森口さんが目指す「テキスタイルコンバーター」とは、繊維工場とメーカーの間にいる生地問屋のこと。展示会に産地の生地を出展し、デザイナーの目に触れる機会を作ったり、問い合わせを受けてサンプルを作ることが主な仕事です。森口さんは現在、山梨県内の産地紹介冊子『WARP』や産地で織られた生地を同封したカタログ『WEFT』の制作に携わるなど、郡内産地の織物についての情報発信も積極的に行っています。今回は4月19日から4月30日まで東京都中央区月島にて開催された、〈株式会社社系編織 Showroom 2022SS〉に富士吉田・西桂産地の生地を出展しました。緊急事態宣言の影響を受け、オンラインで参加することになった森口さん。訪れたファッションデザイナーが気になった生地について知れるよう、生地一枚一枚に手作りのキャプションを付けた結果、好評だったそう。すでに2社と商談が成立し、今後はサンプル作りをしていく予定です。



この頃感じるのは、季節の春と秋が短くなっているのではないかと、ということです。4月なのに初夏の陽気、夏日という日も多くなっています。春と夏の境、秋と冬の境、季節の境がだんだん無くなってきているような気がします。これも地球温暖化の影響なのでしょう。日本は、世界でも稀な四季の美しい国です。未来を担う子供たちにこの美しい四季のある日本を守るため、地球温暖化の防止のため、一人ひとりができることから、自分も何か小さなことでもいいので気を付けていきたいと、新年度を迎え感じている今日この頃です。

〈ふじよしだ定住促進センター局長 細川義夫〉

